

明るく元気の出る町

平成12年4月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

2000 **4**
NO.541



卒業・新たな旅立ち
大琴小にて





▲町政方針を発表する阿部幸悦町長

第2回 議会定例会

景気回復が

国の至上命題に

よい事も残念な事も含め、十一年度は記憶に残る年になりました。

まず、国では小渕政権も二年目に入り経済の再生を至上命題とする内閣であることを十分意識して、金融機関の再編をはじめ日本経済の立て直しを図るべく懸命であります。

景気回復と財政改革の二兎を追うべきとの議論もある訳ですが、長引く不景気のため、企業の相次ぐリストラなどで、完全失業率が過去最悪の四・九パーセントを記録し、中高年齢層の自殺者が三万人を超えたという新聞記事など見ると、やはり景気回復がまず第一という気にさせられます。

新農業基本法も三十八年ぶりに七月に改正

第三回議会定例会は三月七日に招集され、会期を十六日までの十日間としました。

初日、阿部幸悦町長の町政方針及び行政報告、教育委員長長の教育方針発表、二議員による一般質問の後、東由利町奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例についてなど七議案を原案通り可決しました。

翌八日には平成十一年度一般会計補正予算案など十九議案を原案どおり可決、総額三十八億三千七百万円（前年度当初予算比七・七パーセント減）の平成十二年度一般会計予算案などを予算審査特別委員会に付託しました。

九日からは委員会審議が行われ、最終日の十六日、収入役の選任につき同意を求めることについてなど二十四議案を原案どおり可決、閉会しました。

なお、二面から十四面で議会定例会における町長の町政方針を中心に、第二回議会定例会の内容を紹介します。

将来見据えた町づくり

を見ました。昭和三十六年の農業基本法制定以来、三十七年間で日本の農業と食料事情は凄まじい変貌を遂げ、農村の姿もまた激変しました。新法の食料自給率の数値目標設定、株式会社農地の取得、また中山間地への直接支払いなど、「あきたこまちと由利牛の里」のわが町にとっても、将来大きな影響の出る新法の成立でもあります。

いよいよ始まる

介護保険制度に備え

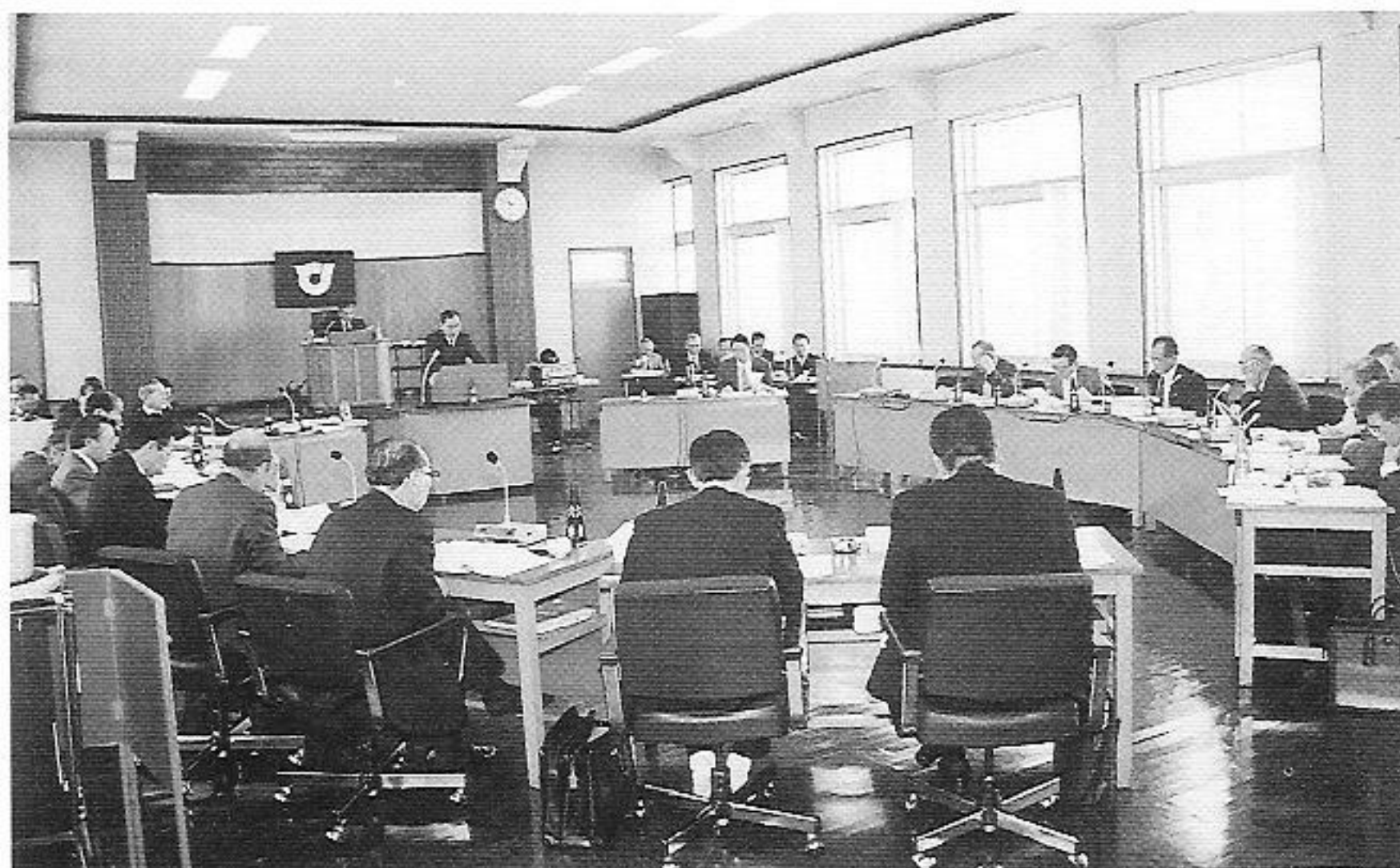
二十一世紀の日本の大きな課題の一つに少子高齢化があります。少子は将来の日本の活力や国力の維持、経済活動、また安定した年金制度の問題にも大きくかかわってくることで、それと同時に高齢者福祉の問題にも大きく関わってまいります。

高齢者福祉の大きな部分の高齢者介護はこれまで家族介護が原則で、これに福祉が加わってきたことであります。少子化にもよる、家族介護には限界があります。また老人福祉制度にかかわる財政の問題も大きくなってきたことです。そのためにも今までの福祉制度による老人介護を見直して、保険料を徴収して社会的な介護にしようとする介護保険制度の導入があります。

新しい制度でありますから、最近まで国でも試行錯誤的な動きがあり、私たちもかなり混乱をした経過もあります。これをわが町一町で解決できる問題ではないと認識して、本市由利郡全体で広域的に取り組むことにしました。

町長町政方針

全般について
一部抜粋



▲3月議会定例会の様様

昨年十月一日から要介護認定の申請受付が始まりましたから、事実上この日から介護保険制度が始まったことでもあります。全国の市町村が保険者になることで、六十五歳未満の自営業などの二号被保険者は、保険料を国保税に上乗せして納入して頂くことになり、国保税の完納も図りつつ、介護保険料の完納もしていかなければなりませんので大変心配なことでもあります。

将来を見据えた

地域分権制度が本格化

地方分権整備一括法も七月には成立し、地方分権もいよいよ本格的になります。ご承知のとおり日本は明治維新以来、富国強兵政策をとり強烈な中央集権国家を組織してきました。それが太平洋戦争で敗れ、新しい日本国憲法のもとに平和な国づくりをしてきたところであり、戦後五十年を経過し日本も成熟国家になってきたことでもあります。

地方分権は、地方のことはそこに住む人々が自己責任のもとに自己決定をすれば、よりよい地域の経営になっていくという考え方で、具体的には機関委任事務として県や市町村に委任されていた国がもついろいろの権限や事務が、地方自治体に分権されることとなります。

大変好ましい方向になるでしょうが、今、分権を受ける自治体が心配していることは、それに伴う財源を国はどうするのか、ということであり、財源の多くをそのままにして手

間暇のかかる権限だけを分権したのでは、小さい町村はその受け皿にはなりにくく、結果として町村合併を強制してくるのではないかという心配があります。しかし、地方分権の行き着く方向としては町村合併でもあるという大きな視野に入れ、町づくりもしていかなければならないことは否定できません。

高等教育、高規格道路に

秋田県が本格的取り組み

秋田県では四月には秋田キャンパス、本荘キャンパスの県立大学が開学になり、県内でも高等教育を受ける環境が広がりました。由利郡本荘市挙げての誘致運動をした結果、本荘市に県立大学本荘キャンパスが開学になったことです。TDKの存在もあり、地域産業と密接な係わりを持つシステム科学技術学部の設置となったのであります。わが町からも通学できる距離に大学ができたことであり、由利本荘のためには大きな起爆剤となっていくことでもあります。

また待望の日本海沿岸高規格道路の一部杭打式も行われ、いよいよ由利郡本荘市にも高規格道路の時代が現実的になってきました。平成十九年の秋田国体までに、という目標で始まることであり、ぜひそれを目指して実現できるように頑張ってほしいものです。

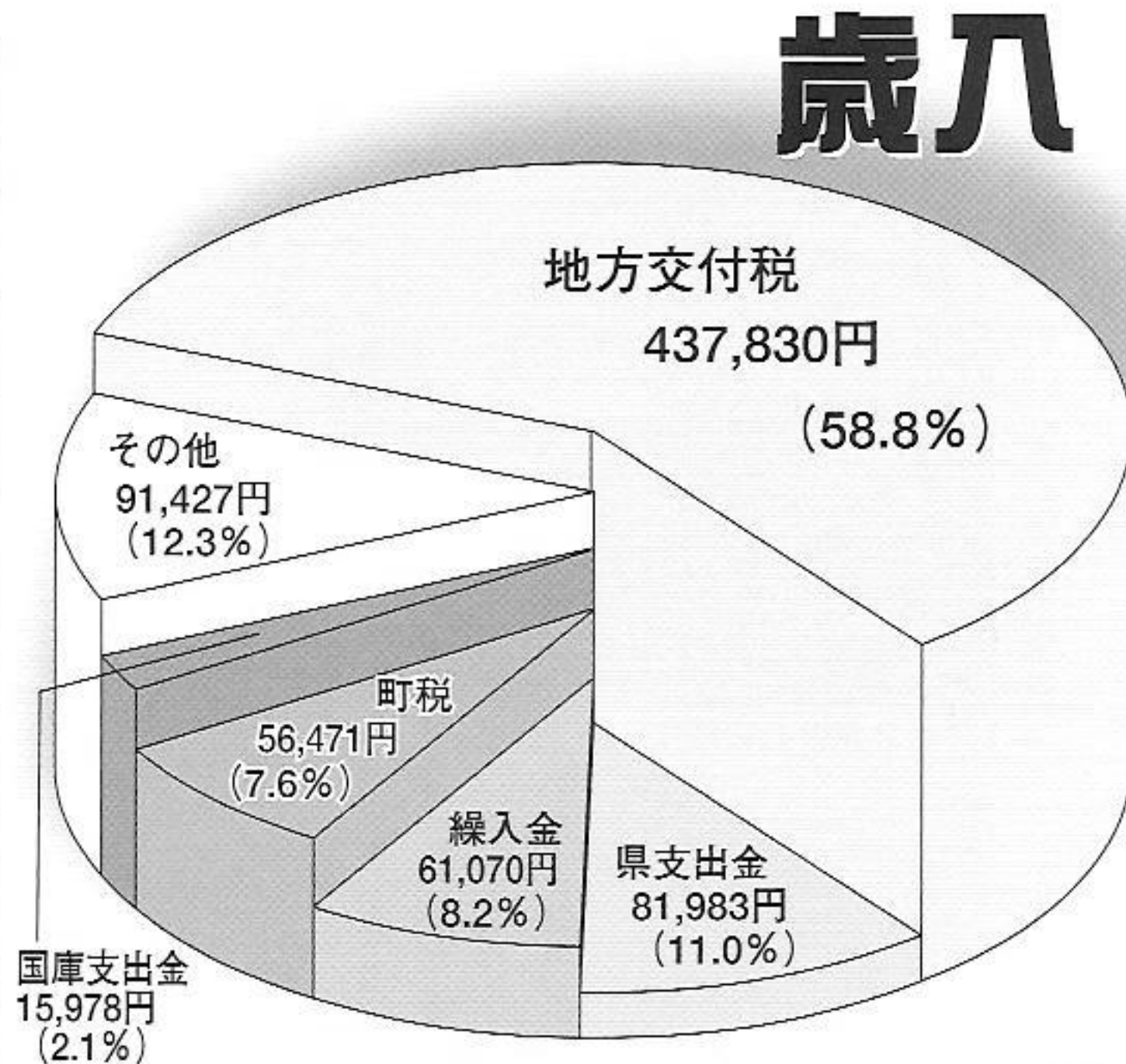
引き続き平成二十二年度も、町民皆さんと共に更なる町政の発展と町民福祉の向上のために、前年度を大きなバネにして頑張りを一年になりますように祈念します。

町作りに向けて

町民一人あたり
744,759円
町の人口は2月末現在
5,152人とした

歳入

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率(%)
町 税	290,940	289,300	1,550	0.5
地 方 譲 与 税	64,000	64,000	0	0.0
利 子 割 交 付 金	2,000	2,000	0	0.0
地方消費税交付金	40,000	40,000	0	0.0
特別地方消費税交付金	0	1	△1	△100.0
自動車取得税交付金	30,000	30,000	0	0.0
地方特例交付金	4,000	4,000	0	0.0
地 方 交 付 税	2,255,702	2,268,339	△12,637	△0.6
交通安全対策特別交付金	1,200	1,200	0	0.0
分担金及び負担金	36,606	63,231	△26,625	△42.1
使用料及び手数料	25,935	22,269	3,666	16.5
国 庫 支 出 金	82,319	156,405	△74,086	△47.4
県 支 出 金	422,375	572,212	△149,837	△26.2
財 産 収 入	20,485	12,719	7,766	61.1
寄 付 金	1	1	0	0.0
繰 入 金	314,635	167,067	147,568	88.3
繰 越 金	70,000	70,000	0	0.0
諸 収 入	47,402	36,766	10,636	28.9
町 債	129,400	356,400	△227,000	△63.7
歳 入 合 計	3,837,000	4,156,000	△319,000	△7.7



一般会計当初 三十八億三千七百万円

町長町政 方針から 一部抜粋

国の予算も衆議院を通過して参議院審議に入っていることです。が、遅くとも三月末には国会議決となることです。

気になる地方財政計画では厳しい財政状況を踏まえてであります。が、地方交付税は総額を二・六%増で確保をするということになっております。

また時限立法の過疎法は、三月末日の日切れ法案として、新過疎法がまた十年間の時限立法で成立する見通しになりましたが、十二年度の予算編成時には過疎債を見込まないで、という指導もあり、基金繰り入れという形にはなりますが、法の成立を見てから過疎債に振り替えるということになります。

秋田県でも、いま当

初予算案の審議が行われていることですが、昨年に引き続き県債残高のふくらみ、法人事業税の落ち込みなどで、町村に対しての補助率の一層の削減などを迫ってきております。

任期三期目は ソフト事業の充実図る

平成十二年度予算は、昨年二期八年間の任期を終え、八月から新しく三期目の任期をいただいた初めての予算になります。

町長職としての過去二期八年間は「明るく元気の出る町東由利」をスローガンに、東由利の永遠の課題と捉え、これまでも申し上げてまいりました四本の施策を柱に、積極的な町づくりを進めて参りました。

その結果、わが町の課題解決のためのハードの整備は大きなメドが着きつつあります。

新しく始まった三期目には、この整備が出来つつある事業をいかに有効に活用して行けるか、ソフト事業の充実を大きな課題の一つにして参ります。

国道一〇七号を通過する人を交流人口としてとらえ、定住人口の大きな活力にしていきたいと取り組んで参りました「道の駅」はじめ、第三セクター「黄桜の里」、「ぶれっそ」、また東

由利町のみならず、秋田県の「八塩いこいの森」として整備を進めて参りましたハード整備をいかに活用して、わが町五千百人の定住人口の活力にすべく、ソフト事業での充実を図るべき時期になると考えているところであります。

そのためにもわが町づくりの永遠の課題となります四つの柱

- 一 長寿社会を共に寿ぐために
- 二 山紫水明の里づくり
- 三 産業の振興
- 四 人材の育成 後継者づくり

を引き続き基本に据えながらの予算編成であることは当然であります。

この予算は、町議会のご提案やご意見、予算・決算委員会での審査報告、数多くの町政座談会等での要望や意見、日頃の町民の町づくりに対する真摯なご意見にも十分心して、施策化し編成したものであります。またそれぞれの町担当職が激論を交わし英知を絞った結果でもあります。

一般会計当初予算は

前年比七・七%減

平成十二年度の一般会計予算案は、三十八億三千七百万円、

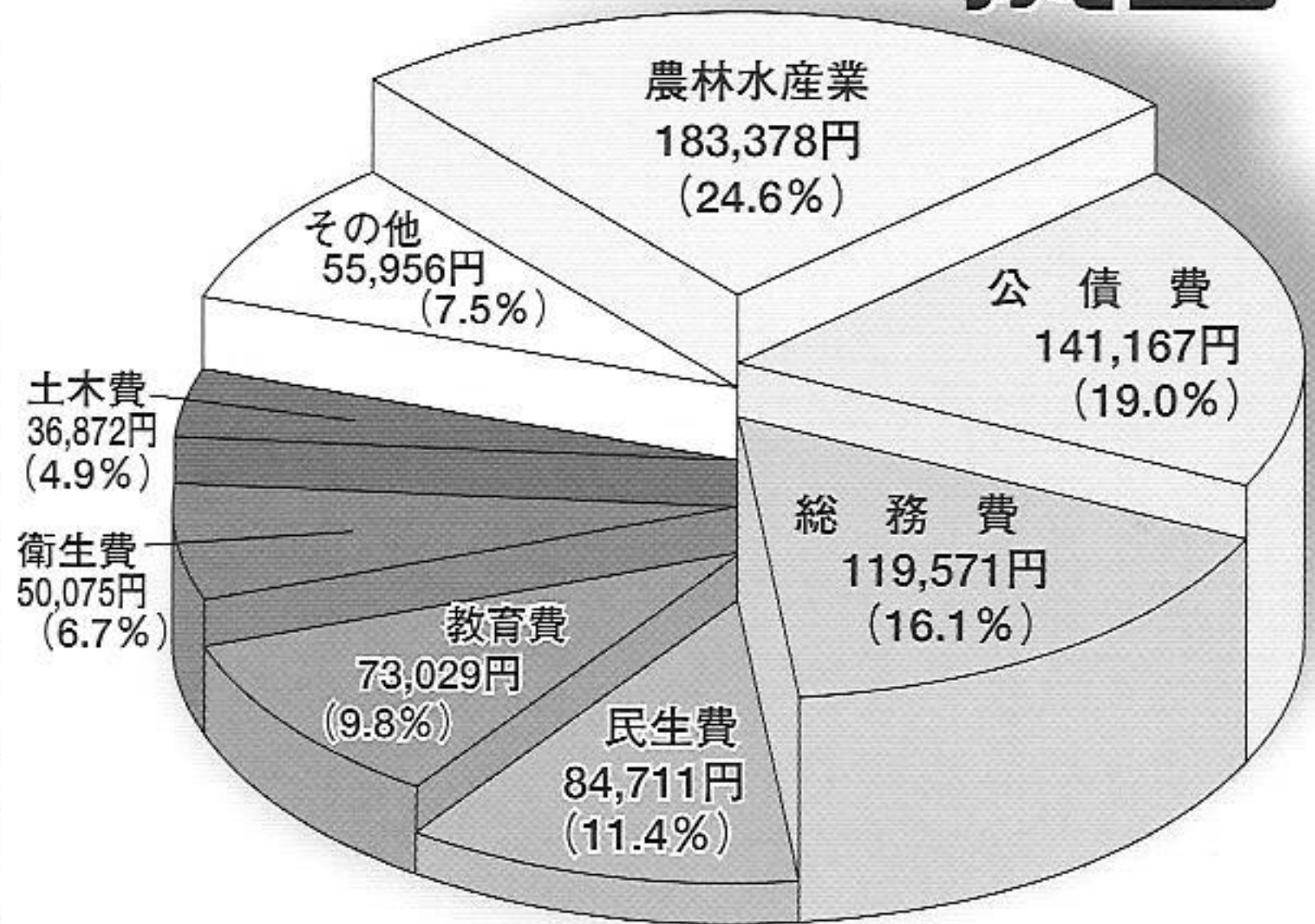
明るく活力ある

歳出

歳出

(単位：千円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率(%)
議 会 費	80,853	88,313	△7,460	△8.4
総 務 費	616,032	480,522	135,510	28.2
民 生 費	436,433	573,468	△137,035	△23.9
衛 生 費	257,984	281,244	△23,260	△8.3
労 働 費	16,094	13,350	2,744	20.6
農 林 水 産 業 費	944,762	1,180,046	△235,284	△19.9
商 工 費	30,406	24,490	5,916	24.2
土 木 費	189,967	149,054	40,913	27.4
消 防 費	154,835	167,339	△12,504	△7.5
教 育 費	376,243	448,891	△72,648	△16.2
災 害 復 旧 費	2,000	2,235	△235	△10.5
公 債 費	727,290	743,447	△16,157	△2.2
諸 支 出 金	101	101	0	0.0
予 備 費	4,000	3,500	500	14.3
歳 出 合 計	3,837,000	4,156,000	△319,000	△7.7



前年度当初比マイナス七・七%になります。マイナス要因は中山間事業などによるハード整備の完了などが理由になります。今年度は、山村振興事業もメドがついた後でありまして、申しあげましたように、少々ほっとした予算案という感じがいたします。

しかし、老朽化した役場庁舎もいよいよ建て替えに向け、用地の選定や用地買収にも取り掛からなければなりません。老方自治会からは早々と地区住民の署名入りの陳情書もいただき、大変意を強くしたところです。

四月から施行の介護保険も多少の不安も抱えながら始まることですが、緊張しながらも、新制度が円滑に機能するように取り組んでいかなくてはならない年であります。認定作業や保険者としては広域で取り組むことですが負担金の支出が伴うことになり。

東光苑も十五年目に入ります。老朽化が目立ち、大規模改修の時期であります。これは国の第二次補正の対応になっており、全額繰り越しで、実質的には十二年度の事業となります。補助対象外の外構工事などは、当初予算でお願いをしているところでもあります。

第三セクター黄桜の里も、営業五年目に入り、交流人口の拠点としても町の福祉の拠点としても、ますます私たちの期待にこたえていく施設になりました。丸四年間の経過を見て経営状況の分析を行い、必要な経費の分担をしていきたいと思うものです。

入湯税についても銭湯的取り扱いという言い訳もできない時期にもなりましたので、条例通りに納入してもらい、もうものはもう、支援すべきものはないというようにしていきたいと考えております。

また基金としておりました少子化対策については、遊具選定委員会でも議論してもらいました。遊具を湯楽里敷地内に設置することですが、その際に空き地一帯を芝生で整備をしてまいりたいと考えているところです。

庁舎建設を控え 油断なく財源の確保を

これに対しての財源であります。町税は昨年並みを期待していることでありまして、交付税も国では昨年比二・六%の伸びとは言ってはおりますが、まずはほぼ昨年並みと見込んだところであります。

過疎債については当初では県の指導もあり、まず基金の取り崩しで対応したこと。財政の健全化指数、経常収支比率などは決算により確定するものであり、ある意味では分母と分子の関係でもあります。ですから、財政規模が小さくなりますと指数等の上昇があるものと考えております。

しかし、起債制限比率などは心配する状況にはなっておりませんが、今後予定している役場庁舎の建設費は、交付税措置のある良質起債の適用がないことから、そのためにも油断なく備えて行かなければなりません。

(一般歳出の内容について、六面から九面に、また各特別会計については十面にそれぞれ町長町政方針から抜粋して紹介します)

活力ある産業の振興

町長町政方針より一部抜粋

本年度行う主な事業



いよいよ平成12年度オープン
オートキャンプ場(平成11年撮影)

八塩地区一帯を

活力の拠点に

八塩一帯もアピールできる条件整備が進んで米ましたので、グリーンツーリズムも視野に入れて勉強して参ります。

八塩いこいの森の施設の活用につきましましては管理運営等に係る条例の整理も行い、いろいろな機関、キャンプ協会などのご協力を得ながら、よい活力の拠点にしていきたいと思っています。

また、オートキャンプ場のオープンの合わせ、記念イベントも企画して参りたいと思います。観光協会ともタイアップし、黄桜まつりも盛り上げたいものです。

五年目の湯楽里

高齢化時代に対応

温泉保養施設「湯楽里」も営業五年目に入っておりますが、源泉の水中ポンプの点検の時期ということですし、高齢化の時代です。で浴槽にも手摺りなどを取り付けたいと考えております。

第三セクター「黄桜の里」の累積赤字もこの際、整理した議論をすべき時期と考え、第一期の営業に関わらない赤字分については、

本来行政がもつ部分であり、その分を支援することにします。

由利牛の里として

良質メス牛の確保

由利牛の里については高値安定の状態が続いており、健闘をしているところ。平均価格も四十万円を超えておりますし、認定農家層の大きな経営の柱になっていることです。これは平準化事業での「北国七の八」が大きな力になっているという評価であります。

しかしこの配分も十二年度で終わりつつあるということであり、この際このメス牛の確保が緊急の課題と考え、集中的にこの確保を図ります。

三割の生産調整

町の支援策盛り込む

昨年の稲作については本当に大変な状況であり、県でも昨年の経過を踏まえ、航空防除では殺虫剤は一回しか使用できないという規定の見直しもしたところですが、ここにわが町でも独自の有効な手段の手助けをするべきだと考えるものであります。

また、三〇%を超える生産調整の中、少しでも農家の所得を上げ

るとすれば、良質米の生産が大きなポイントであり、生産調整も米の必要量確保のための生産面積はどのくらいなのか、そして、新基本法での自給率を上げるためにはどうするのか、という考え方が整理されます。

そのためには、多くは輸入に頼っている麦や大豆などの転作に手厚い奨励金を、ということになります。そばなども条件としてはなかなか面白いことでもありますので、皆瀬村との連携を深めて観光用など商品化も視野に入れた施策も盛り込んでおります。

低迷する林業に

大きな力

産材価格が低迷のまま厳しい状況が続いております林業でありますが、改めて長伐期の視点による経営が必要になってきます。

これまでも、町単独の間伐補助事業を実施してきておりますが、十二年度は林野庁の補助事業である緊急間伐事業に取り組みます。事業は森林組合への委託になると考えていますが、対象林齢四十五歳まで、補助率は県のかさ上げ分を含めて七二%と大変高率な補助事業であります。

順調に展開する

各林道事業

林道事業についても順調な事業展開ができていくことです。石塚線、仲ノ沢線、湯出野線、袖山沢中線であります。また簡易林道になります高森線、そして牧山線も視野に入れたところであります。

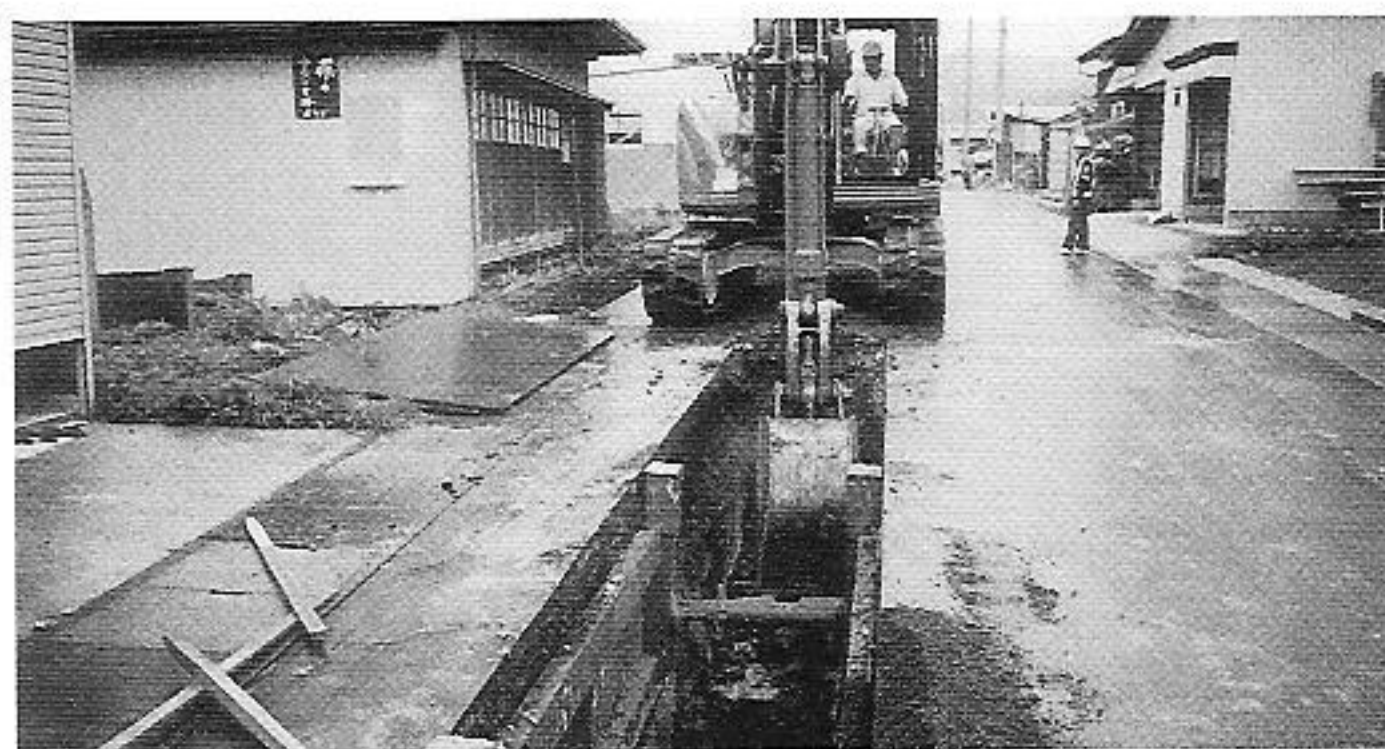
完成した林道の舗装が課題のひとつであります。十二年度事業として間伐面積の大きい松ノ沢線が国の補助事業として採択される見込みであり、林道土場沢線の視距改良も図っていきたいと思います。

林業地域総合整備事業の中で八塩地区の整備がもう少し残っておりますが、十三年度をメドにしてこの事業もひとまず完了ということになります。

堆肥センター

実現化に一步前進

中山間事業では八塩のセンターハウスの外構整備と農道面前寺線の舗装、四ツ眼線の改良、そして集落環境施設堆肥センターの構想を実現化して行きます。施設の建設は町で、管理はJA



着々と事業が進行している
農業集落排水事業

秋田しんせいにお願いをして行くという形になると思います。

功労者表彰式に合わせ

合同竣工式

土地改良区が事業主体で取り組んで来た県営八塩ダムの改修工事も完成し、十二年度に竣工式を行うということです。老朽ため池ボツメキも順調な事業展開ができることです。

土地総、老朽ため池、山振事業などの事業が完了、秋の功労者表彰式と合わせて、これら各事業の合同竣工式を挙行したいとも考えているとあります。

農集排水事業は

蔵と法内一本化

農業集落排水事業の下水道整備事業も順調な進捗で、十二年度は老方・館合処理区が完了します。

次には蔵工区の計画であります。指導機関の方では「なるべく工事費やメンテナンスを縮小する工法を」という指導があります。蔵と法内地区を一本にするべきというのですが、対応に戸惑っております。この事業を始めるときには館合・老方地区を一工区にするためにかなりの説得やお願いを県や国に対して行ったことです。

板戸工区

一号トンネル供用開始

国道一〇七号久保板戸工区は十一年度の予算の増額があり、順調な工事ができており、十二年度は、仮称一号トンネルの両端を整備、供用開始となる見込みであります。引き続き、仮称二号トンネルの着工が予定されております。

アクト線は

十二年度完成の見込み

地滑りで難儀した農道アクト線も十二年度完成の見込みであります。

が、今や逆にそういう指導をされるようになりました。

農集排水事業の対象外地区については、合併処理浄化槽整備事業で取り組むことですが、その調査費について計上いたしました。

宿河川公園にトイレ

管理は自治会に依頼

宿の河川公園は河川災害事業との抱き合わせ整備と県では考えることですが、十一年度は河川災害がなく、結果的には手付かずになってしまいました。しかし宿の皆さんからは完成してからがいいという意見もありましたが、待ち切

ります。土場沢地区へのバイパス的な役割を担うことになっていくかも知れません。

岩館バイパス

法内側から工事着工

岩館バイパスは十一年度に用地の買収が進み、十二年度に法内側から工事にかかるということです。平成十五年度の完成を目指しているところです。

仁賀保矢島館合線の矢島町境については、県単事業になりまますのでなかなか事業化がなされません。今年こそ舗装だけでもと考えているところです。

律沢の圃場整備

十二年度で完了

律沢の担い手圃場整備も十二年度の暗渠工事完了になります。十二年度も生産調整にご協力をお願いしながらの整備事業であります。

高下屋財産区

入会林野整備で

高下屋財産区は財産区を解消して個人有にという陳情があり、組合員全員の同意があれば入会林野整備事業による整備の方向をと思ひます。

めて全部の更新ができたことです。

防火水槽については防火基準からいけば、まだ不足ということですが、現実的にはかなりの充実になっています。十二年度も三基は整備したいと考えております。

法内地区

テレビの難視聴解消

法内地区のテレビ難視聴解消事業にかかります。法内地区を一挙にと思ったことですが、残念ながら高村地区はエリア圏外になってしまいます。野田、新処の一部は視聴に問題ないようです。一世帯当たり十万円を限度に自己負担をしていただくという事業です。

本年度も

三基の防火水槽整備

消防団の機構改革に伴い、ポンプ積載車の更新を図って来たことですが、十一年度の国の補正で四台分の追加をいただきました。これで十二年度に予定した四台を含

次代を担う人づくり

本年度行う主な事業

町長町政方針より一部抜粋



第九回を迎える高橋宏幸賞

町民グラウンドの表土の補充

八塩小学校の屋根の防水シートが剥げて補修が必要になりました。また昨年に引き続いて校地法面の改修をします。下水道の接続もして参ります。

中学校も十一年度で残した分の下水管の接続を行います。

台山町民グラウンドも多少の手直しが必要になりました。表土の補充が必要ということです。

第十回を目指して

宏幸賞の充実図る

高橋宏幸賞も十二年度開催で第九回になります。ますますの充実が楽しみです。

未来を担う子供達にたくさんの本を読んでもらい、夢を描いてもらいたいと始めた高橋宏幸賞ですが、第十回を一つのメドにしながら、まとめの冊子を考える時ではないかと思っているところです。

中学生海外研修

十二年度も継続

十一年度事業で初めて中学生の海外研修を企画したのでありますが、雄和町の好意もあって一緒にさせてもらうことになったことです。結果を見て継続がいいとすれ

ば予算化したいと申し上げていたことですが、研修が卒業式が終わった春休みになることで、結果も見ないままに予算計上となってしまうまい。しかし応募の状況を聞く限り間違いなく、いい研修になると判断をしたところであります。十一年度と同じく十人ほどの予算額にしました。

大台地区に

集会所を新築

大台分校も廃校後は、大台自治会の集会所になっております。自治会にとっては規模が大き過ぎ、集会所としては管理がでかくなることでありますから、この際、いい場所を選定してもらい新築を図って参ります。

玉米会館

内部の改修を実施

玉米会館は内部の改修を図ります。一階部分を多目的に使いやすく、廊下や図書室などを一体化し、大人数の集会にも使用できるようにしたいということです。

大蔵館も玄関など一部は昨年度に補修したところでありますが、十二年度は非常階段の改修を予定しております。

主な施策と予算額

次代を担う人づくり

(単位:百万円)

- ▼外国語指導助手招致 5
- ▼八塩小学校舎・外構補修(法面保護・屋根一部防水工事・下水道接続) 23
- ▼中学校汚水・雨水管改修 7
- ▼中学生海外研修 2
- ▼町民海外研修 1
- ▼生涯学習推進 3
- ▼東田利音楽祭開催
- ▼高橋宏幸賞童話秋田県コンクール開催 3
- ▼文化講演会開催 1
- ▼分館活動推進 2
- ▼体力づくり 2
- その他施策
- ▼庁舎建設基金積立 50
- ▼庁舎建設推進(町民検討会議・用地測量調査) 6
- ▼地籍調査 86
- ▼大台地区集会所施設整備 10
- ▼合同竣工式開催 3

山紫水明の里づくり

(単位:百万円)

- ▼法内地区テレビ共同受信施設整備 28
- ▼防犯灯設置
- ▼消防施設整備(防火水槽3基等) 18
- ▼道路改良(新町線交差点・向山線交差点・台山線歩道設置測量調査・ふれあい道路)
- ▼街路灯設置 2
- ▼河川公園トイレ設置 4
- ▼集落環境施設整備(堆肥処理施設敷地整備・施設設計委託) 30
- ▼農業集落排水整備(山崎久保管路敷設・蔵上里島宮地区設計委託) 377
- ▼東田利水道浄水場内部改修・計器交換等 31
- ▼小ボツメキ導水管新設 26
- ▼八塩・大吹川連絡管接続
- ▼基幹的施設改良(老朽管更新) 100

長寿社会を共に寿ぐ

本年度行う主な事業

町長町政方針より一部抜粋



笑顔で迎えたい介護保険

湯出野遺跡

今後見据え補修

湯出野遺跡に復元した竪穴式住居の土や屋根の補修が必要になりました。この遺跡も当時は東北一の規模でありましたが、その後三内丸山遺跡クラスが続々と出て来まして話題を占め、この遺跡の存在は薄くなつてしまいました。

しかしこの墓地に埋葬された人達は間違いない私たち東山町民のご先祖でありどう残していけばいいのか課題の一つであります。県の埋蔵文化財センターから

は、ここから出土した大量の遺物が返還になり、中学校の空教室に保管しております。

庁舎建設に

町民検討委員会の考え

庁舎建設には申し上げましたように、良質の起債がないことですから基金の積み増しを図って参ります。本年度できれば用地買収までと考へます。

またいい庁舎施設になればと思いますので、行政サイドだけでなく、町民検討委員会などもつづいていきたいと考えております。

介護保険制度に

全力で取り組み

介護保険が始まり、社会福祉協議会も事業者として介護事業収入が見込まれるのはありますが、需要がどの程度になるのか分からない部分もあります。

また今までの福祉事業が全部介護保険で賄われるものでもない訳でありますので、ヘルパーも今までどおり、町社会福祉協議会に委託して、福祉事業に取り組んで行かなければなりません。

高齢者の温泉利用券も大変好評であります。寝たきり老人に対する町単事業の介護手当で、介護保

険から支給されるという情報もあります。定かでない部分ですが、単価を減じながらも、まずは存続することにしたところです。

介護保険と福祉との棲み分けもあることですが、今の福祉のレベルを落とさない支援事業は是非必要とされる所です。東光苑・いちよう館・社会福祉協議会とも、よく連携をとっていかねばなりません。

また家族介護に対する保険の給付もあり、その条件にもなるという家族介護ヘルパーの養成も必要になってきます。

活力ある産業の振興

(単位・百万円)

- ▼サンタフェステイバル助成 1
- ▼温泉保養施設整備(浴槽手すり・女子サウナ改修・源泉水中ポンプ水位計設置等) 14
- ▼第三セクター・温泉保養施設経営活性化支援 42
- ▼農道整備(両前寺舗装・四ツ眼・アクト二期地区) 91
- ▼産業道路整備 5
- ▼県営ため池整備 15
- ▼水稲生産対策 5
- ▼野菜生産振興対策 2

長寿社会を共に寿ぐ

(単位・百万円)

- ▼身体障害者ホームヘルプサービス 4
- ▼身体障害者更生支援施設整備 7
- ▼身体障害者住宅福祉活動等生活支援 4
- ▼町社会福祉協議会運営助成 11
- ▼ふれあい安心電話設置 1
- ▼老人福祉施設整備 16
- ▼特別養護老人ホーム施設整備 8
- ▼高齢者住宅福祉推進 9
- ▼高齢者配食サービス 5
- ▼ねたきり老人介護手当給付 1
- ▼介護保険関連費 44

▼畜産総合対策(町補助等) 3

▼入会林等整備促進 3

▼林道新設改良(袖山沢中線・湯出野線・仲ノ沢線・土場沢線用地測量等)ふるさと林道緊急整備(石塚線) 267

▼八塩いこいの森整備(活性化施設外構整備・花木植栽・パークゴルフ場調査費) 25

▼いこいの森管理運営 26

▼中小企業振興対策(中小企業振興基金繰出金等) 15

▼観光振興(板戸地区観光案内板設置・八塩オープンイベント等) 11

▼高齢者健康増進・社会参加支援(げんき券・移送費給付・老人クラブ活動助成) 4

▼敬老会・金婚式開催 6

▼高齢者・身体障害者住宅整備費交付 3

▼保育所整備・特別保育推進 127

▼児童公園整備(広場整備・遊具設置) 48

▼町民健康診査等老人保健関連費 80

▼乳幼児・母子父子児童・身体障害者医療費助成 29

▼施設介護サービス 207

▼通所介護サービス 40

▼在宅介護支援 19

特別会計

初算
当予 21億4千7百万円

町長から
方針を
一部抜粋

(単位：千円／△：減)

項目	本年度当初予算	前年度当初予算	増減率(%)
国民健康保険	426,831	444,130	△3.9
老人保健医療	701,517	681,501	2.9
簡易水道	293,735	476,678	△38.4
農業集落排水	438,729	808,332	△45.7
特別養護老人ホーム東光苑	268,718	265,032	1.4
大平スキー場運営費	17,609	18,702	△5.8
合 計	2,147,139	2,694,375	

農集排水事業は昨年比 45.7%減

大袖地区に

ボツメキ水源の水

簡易水道は昨年比マイナス三八・四％の一億九千三百万円で、マイナス要因は大琴水道整備事業等の完成です。

十二年度も、年次計画で補修をしております。松沢浄水場の整備をしていきます。

ボツメキ水源また小ボツメキの水については水利権者の大変なご理解をいただいて、水量の増加が図られることになりました。小ボツメキについては昨年度出水口四箇所をまとめて囲いをしてきましたが、さらにボツメキの導水管に接続をしたいと思っています。これによってボツメキを水源とする水量が倍増する可能性があります。

八塩いこいの森に九十トンのボツメキ水源の配水池を作ることが出来ました。これは大袖地区に流せないかと考えながら整備した配水池でもあります。十二年度に事業化します。延長二千三百十五メートル程の距離になります。

基幹的施設改良も四年になります。十二年度には時雨山から須郷田として新町地内ということになります。農集排水事業とのからみもありますが、平成十

四年度で完了の見込みです。

農集排水は十二年度で

老方、館合地区工事完了

農業集落排水は予算額について昨年比マイナス四五・七％、四億三千八百万になります。

平成十二年度で老方・館合地区の工事が完了します。管路敷設は山崎から久保にかけてになります。

また次の処理区に予定しています。蔵・上里・島宮地区についても計画の策定に入らなければなりません。処理区を大きくするという考えであり、法内地区も入れた計画策定になるかと考えております。

東光苑で

介護保険サービス対応

東光苑は介護保険のサービス事業所にもなっていくこととなります。概ね前年並の予算になっております。

歳入も介護保険からの介護サービスへの対価ということに変わってまいります。大規模改修については三月補正に計上して繰越明許ということになります。また法面などの外構工事については一般会計に計上しております。

大平スキー場について

議論の時期

大平スキー場はここ数年最も

利用率の高い年末年始にかけて、肝心の雪がないことからなかなか土気もあがらないことです。今後このまま特別会計で行くべきか、議論しなければならぬ時期に来ているのではないかと考えている所です。ただし、雪さえあれば条件的には大変いい社会体育施設であることには変わりありません。

広域組合で

寿荘の改築に取り組み

養護老人ホーム寿荘の改築であります。これは昭和四十四年に建築され、しかも様式が古く八畳間に四人の利用者が入所するというものであります。

改築の時期を迎えいろいろ議論がなされて来たことですが、いよいよ新築ということになりました。本荘市水林の福祉エリアの一面に移転新築されることになりました。定員が百人であります。これも一市十町での取り組みになります。実施設計分の予算は三月補正ということになります。

総事業費は実施設計が上がらないと確定できませんが、十八億円前後になる見込みであります。各市町村の分担割合だけは決まっております。本荘市が六五％、十町で三五％を負担することになりました。現在、わが町からの利用者は八人になっております。

11年度を総括

町長から
方針一部
政から
抜粋



五月に八塩いこいの森で県植樹祭

一等米比率二七% 残念な結果に終わる

二月には積雪が百五十センチを超え、なおかつ降雪が続き、うなことから豪雪対策本部を設置したのでしたが、心配しました春の雪消えは順調で、例年の融雪による河川災害などの被害も少なくて済んだことであります。また春の農作業も順調でした。

夏は異常な暑さで二十七日間もの真夏日が続き、干ばつの心配をしたのでありますが、川掛りはその心配もなく、ボツメキの水はじめ東由利の自然のふところの深さを実感しました。

秋には長雨などもあって多少の心配をしながらも、豊作を期待したことであります。

しかし、その期待は、これまで聞いたこともないカメムシの被害によって無残にも打ち砕かれてしまいました。一等米比率が二七%と言う最悪の結果になってしまいました。

これにより、わが町農業の中心的存在になつてもらわなければならぬ認定農業者層の被害が大きくなり、大変心配したところです。

県の植樹祭

盛大に行われる

五月には前年に日本さくらの会からいただいた桜の苗木を用いて「育てよう地球の命と未来の夢を」をメインテーマに、第五十回秋田県植樹祭が八塩いこの森を会場に盛大に開催されました。天気にも大変恵まれ、竣工なったばかりの八塩広場の野外ステージから見ると八塩山も素晴らしいものであります。

田代地区の皆さんをはじめ町民総掛りで、将来につながる良い祭典にしていただきました。本当に印象に残るいい式典ができ、五年後、十年後が楽しみなことです。

本町肉牛取引

平均市場価格より高

由利牛の方は頭数は漸減はしておりますが、まずは十分な市場価格になっていると認識しております。本町が率先して取り組んだ平準化事業による優秀な種雄牛の確保などもあり、平均市場価格より四万円も高い取引価格になりました。米の生産調整が続く中、肉牛はますますいい柱になっております。

新設町民プールに

長崎宏子さん招く

七月には二ヶ年の継続事業で取り組んできました屋根付の町民プールが完成し、長崎宏子さん

さんを講師に迎えてオープンすることが出来ました。これは中学校のプールが老朽化したため、改築する際に町民も使用出来るものとして建設すれば利用効率もよいと判断した結果でした。

農産物処理加工施設

積極的な活用に期待

道路や基盤整備事業も順調に進捗しました。

農道も一気に、新処線・小田線・明通線の三本が完成しました。国道一〇七号の改良工事についても、国の第二次補正がつき順調な進捗であります。

懸案でもありました農産物処理加工施設も完成しました。

総事業費六千二十万円で、山村振興事業による施設として完成したものであり、去る一月三十一日には、施設の管理をJA秋田しんせい東由利町支所に委託しました。付加価値のある農産物の加工や特産品の産出に結びつくよう積極的な活用が期待されるところであります。

農産物処理加工施設「住吉館」の完成をもって山振事業は終了、中山間事業も完了に近づきつつあります。この事業でもいい基盤の整備が出来ました。オートキャンプ場、八塩センターハウスなどの完成です。

土地総事業も終わり、第一次構造改善事業の再整備のような事業展開が出来たことです。稲

作の将来にとって本当にいいタイミングで事業が出来たと考えております。

意気消沈した

東光苑での不祥事

十一月に発覚した、東光苑の不祥事は本当に申し訳のないことであります。

五ヶ年間にもわたり、苑で預かっていました入所者の貯金通帳から不正にお金引き出されていたことが発覚、町づくりの四本柱の第一に位置づけられている「長寿社会を共に寿ぐため」に、大きな拠点と位置づけられていた東光苑で発生した不祥事であり、本当に大きなショックでありました。

全体掌握のために、それぞれ役割を分担して事の解明に努めたことであります。対外的にも全く意気消沈する誠に遺憾な不祥事でありました。

こういう沈滞状況を払拭してやろうとNHKに働きかけ、二十五分もの雪上野球の生放送番組を企画してくれた人達もいました。お昼の全国放送でありましたからなかなかの反響でありました。

改めて、いろいろな意味でのわが町の懐の深さ、広さを感じさせられた一年でありました。

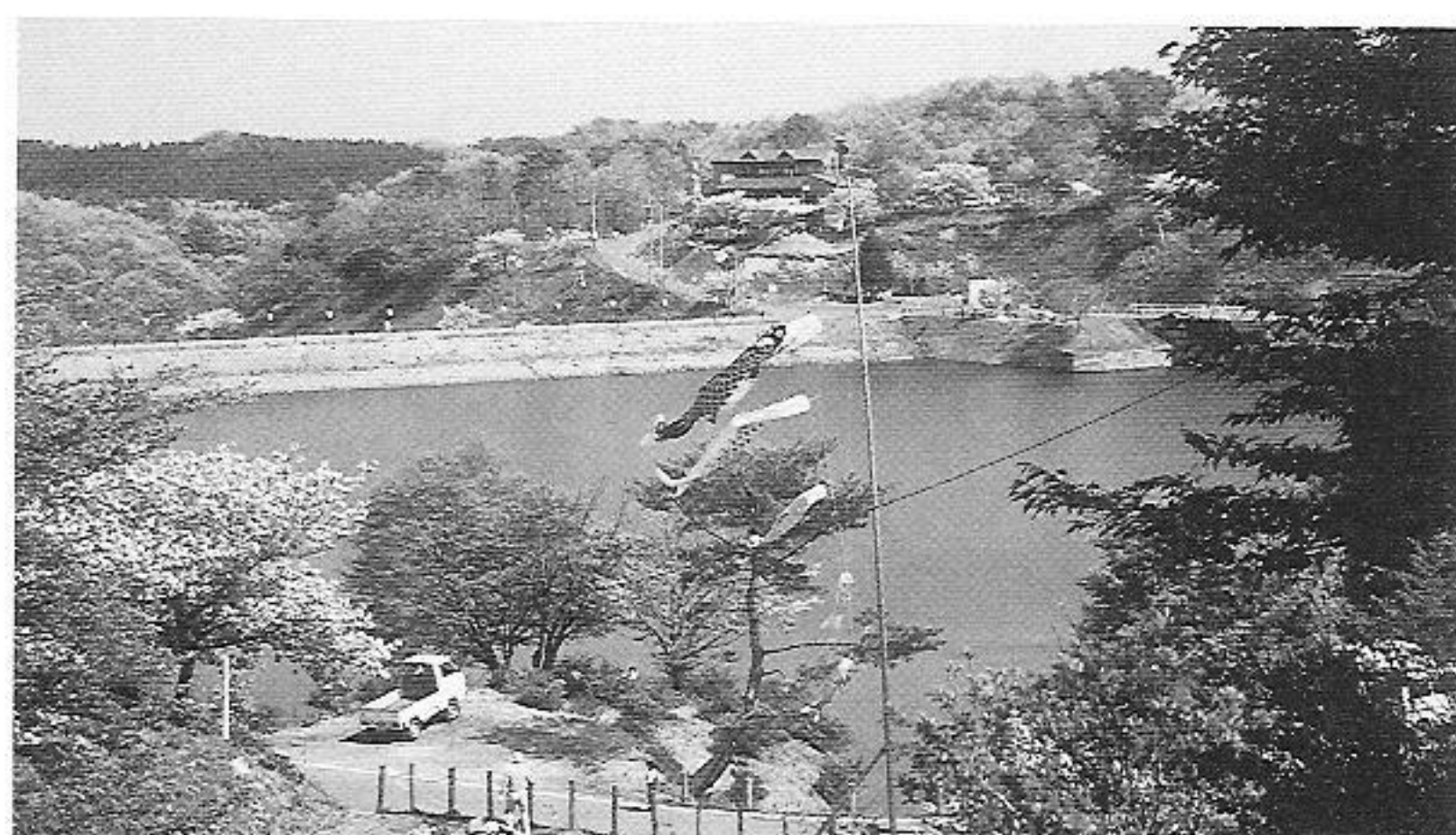
一般質問

一部抜粋

佐々木長円議員

問 東光苑の不祥事の十二月定例会後の動きは。

答 被害総額は四千二百二十五万六千九百円。四件四十五万円が追加になっている。全体の整理はほぼついたと思う。管理当事者として改めて事務など再点検をしていきたい。



▲八塩ダム整備に期待

ハード整備とソフト事業連携を

問 旧森林組合施設を古紙等処理施設として利用することの詳細説明を。

答 リサイクル法により収集を義務づけられた。

ペットボトルのリサイクル事業を広域組合で実施するため、同施設を利用したいと考えており、平成十三年度から運営できればと思っている。現在同施設の利用について補助事業がらみで国の判断待ちの状況。

問 新年度予算と町長三期目における今後の考えは。

答 「明るく元気のでる町づくり」を目指し、三期目も本町永遠のテーマである四本柱を中心に施策を展開したい。

これまででハード整備はほぼ完成と考えている。このハード整備を生かしどうソフト事業として生かしていくのが課題。

問 八塩ダムもよく整備されている。山村留学等、他町村との交流の考えは。

答 八塩ダム整備はわが町の自然のよさをアピールする事業であり、定住人口にプラスして交流人口にも期待したい。



▲子供たちの笑顔のために

小野 健議員

問 現在の農政では農業の未来は絶望的。町長の考えを。

答 自給率低下、自由化など様々な原因が考えられるが、現実問題として、農業基盤を整備、認定農業者を柱にし、農業振興につとめたい。

問 農業年金制度改革案について。

答 制度的に賦課方式から積立方針に変わる。農業者の状況について心配していく。

問 中山間地等直接支払い制度について。

答 農地を食料の生産の場としてだけでなく、国土の保全という役割を担うという考え方の施策。

問 六歳未満（未就学児）医療費無料化は実施できないか。

答 県は八月から未就学児について無料との考えがあり、本町でも県と連動してやっていきたい。

問 介護保険で自立と認定された人に対する支援の考えは。

答 介護保険は介護という部分での対応。自立と判定されても福祉サービス低下につながらないような施策を行っていきたい。

問 介護保険料が増える。基金で国保税の引き下げを実施できないか。

答 介護保険料については国でも資金投入の考えがある。

税が低いにこしたことはないが、安定した国保制度を維持するために一定額の基金は必要であり、引き下げはできない。

議案

議案から
一部抜粋



▲今後の役割が期待される住吉館

多目的ホール	一、〇五〇円
研修室	五二〇円
調理実習室	一、五七〇円
全館	三、一五〇円
(十一月一日、三月三十一日)	
多目的ホール	一、五七〇円
研修室	七八〇円
調理実習室	一、五七〇円
全館	三、六七〇円

3月定例議会には50議案が提案され、全件原案通り可決されました。主なものは次のとおり。

佐藤収入役が再任

田代地区に

住吉館が完成

東由利町高齢者活動・生活支援促進機械施設「住吉館」(位置 田代字住吉四十八番地一)の設置に伴い、同施設設置条例を設けました。

使用料は次のとおり。

▼会議・研修のための使用

(四月一日から十月三十一日)

▼宴会、宴会を伴う会議等の使用

(四月一日から十月三十一日)

多目的ホール 二、一〇〇円

研修室 一、〇五〇円

全館 四、七二〇円

(十二月一日から三月三十一日)

多目的ホール 三、一五〇円

研修室 一、五七〇円

全館 六、三〇〇円

町道三十四路線を廃止

三十五路線を認定

町道須郷田跡見坂線(起点・田代字須郷田八十九一、一、館合字跡見坂五十六一)など三十四路線を廃止し、町道館合線(館合字杉ノ下八地先、館合字長泥八一二地先)など三十五路線を認定しました。

十一年度一般会計

三千四百万円余り追加

平成十一年度一般会計予算に三千四百九十七万八千円を追加し、総額を四十五億五千一百八千円としました。

主なものは▽養護老人ホーム

大規模改修事業一億二千二百九

十七万一千円▽保育所措置費負担金三百五十万円▽老人保健特別会計繰出金八百三十九万五千円▽農地環境緊急対策事業負担金百七十八万五千円▽除雪業務委託料二百四十一万六千円など。

佐藤収入役

再任され二期目に

任期満了に伴う収入役の選任では、佐藤知泰氏の再任に同意しました。

佐藤氏は五十一歳。町商工会、町観光協会、町社会福祉協議会の各理事の職等を経て、平成八年四月から在任、現在二期目。

選任月日は四月一日付けで、任期は四年です。



▲佐藤知泰氏

五十五歳以上の町職員

昇給が停止に

一般職の職員の給与に関する

法律等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、五十五歳を超える職員は特別の場合を除き昇給しないこと、同時に五十六歳以上の職員の昇給延伸措置および五十八歳昇給停止にかかる規定を廃止しました。

道の駅隣接地に

陶芸窯が設置

工芸品創作の普及振興を図るため、東由利町工芸創作施設(位置 老方字畑田四一十一番地)を設置する条例を制定しました。

陶芸窯一回あたり使用料は

・素焼き 八、〇〇〇円

・本焼き 二一、〇〇〇円

奨学資金の

貸し付け額を増額

東由利町奨学資金貸付基金条例の一部を改正しました。

現行の高等学校月額一〇、〇〇〇円以内を二〇、〇〇〇円

以内、大学月額三〇、〇〇〇円以内を五〇、〇〇〇円

以内にそれぞれ改正しました。

条例の施行は平成十二年四月一日から。

新住吉館が利用可能に

教育方針

教育委員長の
教育方針から

ゆとりの中生きる力育てる

平成十四年度からの学校週五日制完全実施とともに、小中学校とも教育過程が全面改定になるため、十二・十三年度は、スムーズに移行できるよう移行措置を実施することになり、現在、各学校とも新年度計画立案に懸命に取り組んでいるところであります。

これからの教育は、国の地方分権の流れの中に、色々の改革が行われますが、基本的な方向としては「ゆとり」の中で、いかに一人一人の子どもに「生きる力」を育むか、を日指しているものと考えられます。

個性と特色ある

学校づくり

これからの学校は、各校とも個性と特色ある学校づくりに主体的に取り組まなければなりません。

平成十一年度は、町内各学校とも「学校の活性化」、「ふるさと教育の充実」を目指して、真剣に取り組んで参りました。

特に「ふるさとドリーム支援事業」については、各学校とも地域の自然、文化、人材等の活用に、創意工夫を凝らした活動を行い、

▲教育方針を発表する小松順之助教育委員長

大変大きな成果を挙げております。この事業は十二年度も引き続き実施ということで大いに期待されるところであります。

これからの教育は時代の変化をとらえるとともに、多様な教育活動が要求されるものと考えられます。十二年度も保護者や地域のご協力、ご指導を得ながら、さらなる豊かな心、たくましい体の育成に努めたいと考えております。

基礎学力向上に

取り組み

これからの学校教育は「たくましく生き抜く力」の育成が基本であります。しかしそれを支えるのはやはり基礎学習だろうと考えられます。

平成十一年度は、各学校とも児童生徒一人一人により確かな学力をつけるために、学習指導の中に「書く活動」を重視し、自分の考えを深めたり、確かめたりすること等の、具体的な対策を立てながら実践に取り組みました。

児童生徒の学力については、全体で全国標準にありますが、教科間における格差や、教科における一部不十分などもあり、各学校ともその補充回復に意欲的に取り組んでいるところです。

本町では一学級あたりの人数が少ないので、個別指導には十分配慮できるという利点もありますので、きめ細かな指導を学校にお願いしているところであります。また、家庭における日常の学習習慣も大切でありますので、学校と家庭との連携を大切にしながら、一人一人の子どもを最大限伸ばしたいと考えております。

学校統合について

条件の整備

児童数の減少からみて、将来は町一校も視野に入れなければならぬいかとも考えられます。

とりわけ大琴小学校に於いては、平成十二年度から、複式学級が二つ置かれるという心配な事態を迎えております。

教育委員会として、「望ましい学校の姿」について、これまでも協議をしてきましたが、学校再編という重大事には、まず地域住民、保護者の意向が第一と考え、学校再編に関するアンケートを実施したり、保護者や関係の議会議員の皆さんとも協議を重ねており、次代を担う子どもたちの将来を基本に考えていけば、やはりまず高瀬小学校と統合するのが最適と考えた次第であります。しかも統合もできるだけ早期にという関係者の声を生かし、統合の日標準年度も可能な限り早期にと考えております。

す。今後、スムーズに統合できますよう条件整備に努めたいと考えております。

社会環境の

更なる充実図る

平成十一年度には町民プールの完成、工芸創作施設も建設され、体育面・文化面ともさらに充実してきました。

特に高橋宏幸賞、野焼きを楽しむ会などの諸行事は、今や全県的な広がりを見せるほど、各方面から注目を浴びております。また音楽祭も幼児からシルバーマでの幅広い参加を見るようになりました。

十二年度には、八塩いこいの森地区も新しい装いを見せてくれることと期待しているところです。

また本町においては、伝統的に芸術文化・体育両面での活躍が光っており、平成十一年度も個人・団体とも多くの協会表彰者を出しております。特に次代を担う青少年や、生涯学習に情熱を燃やす高齢者の素晴らしい活躍ぶりには、全く頭の下がる思いがいたします。

教育委員会としましては、今後とも町民の皆様のニーズに合わせ、更に充実した環境づくりに努めて参りたいと考えているところです。

喜びの春

「スポーツ、芸術文化において功績があった町民の方々を称えよう」と毎年行われているスポーツ賞および芸術文化賞の表彰式。

この表彰式が三月六日に有鄰館でおこなわれ、関係者五十余名が出席しました。

この日、スポーツ賞個人部の部で十八個人、団体で四団体が、また芸術文化賞は五個人、特別賞に二個人がそれぞれ表彰を受けました。

スポーツ賞 表彰式 (敬称略)

スポーツ賞 個人の部

- ・高橋恵 (五海保 東田利中学校)
▽第五十三回本荘市・由利郡中学校陸上競技大会 走り幅跳び 第一位
- ・佐藤桐生 (館西 東田利中学校)
▽第四十八回秋田県中学校総合体育大会陸上競技大会 三種A 第五位

- ・遠藤勇樹 (野田 東田利中学校)
▽第五十三回本荘市・由利郡中学校陸上競技大会 砲丸投げ 第一位
- ・浅田隆行 (大琴 由利工業高等学校)
▽第四十五回秋田県高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子ダブルス 第二位▽同競技 男子シングルス 第二位

- ・小松朋未 (下通 東田利中学校・東田利町スキースポーツ少年団)
▽第四十三回本荘市由利郡中学校スキー大会 女子回転 第一位▽同大会 女子大回転 第一位▽第二回秋田県スキー少年団種目別スキー交流会 中学一年女子第一位

- ・鈴木翔子 (沼 東田利町スキースポーツ少年団)
▽第二回秋田県スキー少年団種目別スキー交流会 中学一年女子第一位
- ・長沼敬晴 (新町 東田利町スキースポーツ少年団)
▽第二回秋田県スキー少年団種目別スキー交流会 中学一年男子第一位

両表彰を受けたみなさん

- ・小松朋未 (下通 東田利中学校・東田利町スキースポーツ少年団)
▽第四十三回本荘市由利郡中学校スキー大会 女子回転 第一位▽同大会 女子大回転 第一位▽第二回秋田県スキー少年団種目別スキー交流会 中学一年女子第一位

- ・小松るみ子 (上通 東田利町スキースポーツ少年団)
▽第二回秋田県スキー少年団種目別スキー交流会 中学二年女子第五位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位
- ・小野学 (宿 本荘高等学校)
▽第五十四回国民体育大会夏季大会ヨット競技 少年男子FJ級第七位

スポーツ賞 功労賞

町内大会の自主運営や郡市大会の誘致など、ゲートボール人口の拡大に寄与し、本町のゲートボールの普及に多大に貢献している。

スポーツ賞 指導者賞

石綿喜代隆 (大琴)
大平スキースクール校長、東田利町スキースポーツ少年団の指導者として、現在にいたるまで多くの有望選手を輩出している。本町のみならず近隣市町村の先駆として、スキー技術の向上に尽力している。

芸術文化賞 奨励賞

・小林檀子 (上通)
・佐藤増子 (新処)
▽第二回歌謡舞踊全国大会 団体の部 優勝

・小松幸子 (中通)
▽第四十一回秋田県美術展覧会 入選

・鈴木佑子 (八塩小学校)
▽第三十九回秋田県児童生徒美術展 立体の部 話題賞

・菊地邦彦 (宇戸坂)
▽第四十二回秋田県美術展覧会 秋田県知事賞

芸術文化賞 特別賞

故 小島輝夫 (本荘市)
豊島重孝 (本荘市)
本町の音楽活動を通して芸術・文化の振興に大きく寄与されました。

介護保険情報

第九回

サービス計画作成依頼

計画作成は事業者に依頼を



東由利町内の指定居宅介護支援事業者

事業者の名称	所在地	電話番号
東由利町居宅介護支援事業所 (在宅介護支援センター)	東由利町蔵字蔵83番地 (いちよう館内)	69-3938
東由利町社会福祉協議会居宅介護 支援事業所 (社会福祉協議会)	東由利町老方字後田70番地3 (社会福祉協議会内)	69-2135

東由利町内の指定居宅サービス事業者(訪問介護)

事業者の名称	所在地	電話番号
東由利町社会福祉協議会訪問介護 事業所 (社会福祉協議会)	東由利町老方字後田70番地3 (社会福祉協議会内)	69-2135
秋田しんせい農協協同組合訪問介護 事業所	本荘市埋田字小館81番地 (連絡先 東由利町支所)	27-1601 69-2221

東由利町内の指定居宅サービス事業者(短期入所生活介護)

事業者の名称	所在地	電話番号
東由利町短期入所生活介護介護事 業所 (特別養護老人ホーム東光苑)	東由利町蔵字蔵83番地 (特別養護老人ホーム東光苑内)	69-2251

東由利町内の指定居宅サービス事業者(通所介護)

事業者の名称	所在地	電話番号
東由利町通所介護事業所 (デイサービスセンター)	東由利町蔵字蔵83番地 (いちよう館内)	69-3938

要支援・要介護との判定結果を受け取られた方は、四月から介護保険制度でのサービスを実際に受けるための手続きが必要となります。

実際にサービスを受けるためには、受けるサービスの種類、回数などを示すサービス計画を作成しなければなりません。

この計画作成は、ご自分で作

成するか、居宅介護支援事業者に依頼する方法がありますが、ご自分で作成するには、サービスの限度や点数の計算など難しい作業が必要となりますので、事業者に依頼されることをお勧めします。

また、計画作成を依頼する事業者は、ご本人またはご家族が選択し、その旨届け出ていただかなければなりません。記載例を参考に、ご記入の上役場福祉課までお届け下さい。

なお、居宅サービス計画作成に係る個人負担はありません。不明な点や届け出書の記載については、役場福祉課または各事業者で相談に応じてくれます。

65歳以上全員に

介護保険被保険者証が交付

「介護保険被保険者証」が介護保険の被保険者全員に交付されます。介護保険のサービスを利用する場合には、被保険者証を必ず提示しなければなりません。

現在介護サービスを必要としない方でも、六十五歳以上の方全員には、三月中旬に郵送で届くこととなりますが、四月になつ

ても届かない場合は、役場福祉係までご連絡下さい。

また、要支援・要介護の判定を受けた方は「居宅サービス計画作成依頼」の届け出が必要となります。すでに届け出を済まされた方には、被保険者証に届け出された事業所の名称が記載されていることになっておりますので確認して下さい。

届け出された方で、記載されていない方は被保険者証を役場福祉課までご持参下さい。

介護保険被保険者証		交付記録	
交付年月日 交付の有効期限 サービス 交付の理由 交付の場所 交付の担当者 交付の備考	交付の年月日 交付の有効期限 サービス 交付の理由 交付の場所 交付の担当者 交付の備考	交付の年月日 交付の有効期限 サービス 交付の理由 交付の場所 交付の担当者 交付の備考	交付の年月日 交付の有効期限 サービス 交付の理由 交付の場所 交付の担当者 交付の備考

▲交付される介護保険被保険者証

健康電話相談が

終わります

健康、医療、看護、介護などの相談に応じていました健康電話相談が三月三十一日をもって終了しました。二年間のご利用ありがとうございました。

なお、四月一日以降フリーダイヤル(☎〇一三〇一三三一一四六〇)は利用できなくなりますのでご了承をお願いします。(町民課 ☎六九一一一七)

続・畜魂

～つれづれの記

第11話「厄払いの餅搗き」

鈴木龍太郎・文

平成七年秋晴の日であった。稲架いっばいに掛けられた稲が陽に照らされていて、稲刈も終わりの頃だったろう。

佐藤宗市氏（笹沢）宅で用件を果たした帰り、ふと見ると隣の高沢清吉氏のミヨおばあさんが畜舎の前にいた。ミヨさんは

高沢家の生飼主である。

車から降り牛の顔を見ながら二人で世間話をしていうちにおばあさんが「この頃さっぱりエゴトネナ」と言い出した。そこで私「そうでもネベコッコの値段も少しエグなってる」

「それでもまだ安い。種止まりは悪いし、それに米の方もさっぱりだしナ」

「……」

「なにかエゴトネナ。餅でも搗いて厄払いしたらナントカナルベカ」

「それだ。エゴトは待っていてもないから、こっちで作ることだ。ベコオキの人みんなエグなるよう餅搗きのことを和牛組合に相談したら」という真面目なミヨさんと無責任な私の問答から厄払いの餅搗きはじまった。

実直なミヨさんは早速黒瀨地区和牛改良研究会（当時佐藤隆一会長）へ持ち込んだ。

この研究会は地下ノ沢、黒瀨、

荻沢の生飼育者が会員で団結が強く何事にも一生懸命に取り組み（他の和牛組合も同様であるが）町営の朴ノ木沢放牧場の牧草刈にも積極的に協力してくれる会である。

ところで餅搗き話を持ち込まれた隆一会長は趣旨（？）は諒解したものの、どのようにして実現すべきか、役員たちと共に悩んだようであるが、年を越した平成八年一月十日に佐藤順一氏（人工授精師）を講師とする肥育講習会を開き、あわせて餅搗きをするに決めた。

その頃町内和牛肥育は遠藤光昭氏（下小路）が専門で、又遠藤正輝氏（館西）横山隆二氏（石高）等が試験的にやっていたが、平成四年頃から子牛価格が安値になったため、町産業課（七年当時遠藤信一課長、畠山基保補佐、石渡博澄係長）と農協では将来ともに、町内産子牛の価格維持する方策を模索しており、その一つとして肥育について農家の考えを聞きたい時でもあったので、此の講習会は時期を得たものだった。

さて肝心の餅搗きである。当日は吹雪気味で寒かったが人々は午前九時頃荻沢会館に集まった。玄關前には大日（黒瀨、八嶋久孝氏より借用）がでんと据え付けられている。その大日に蒸がした糯米を入れて男たちがかわるがわるに餅を搗いた。

たくましく屈強な男衆が美人の母さん方に相取りしてもらいながら寒気を吹き飛ばし汗を流して「悪鬼退散」を念じ「万福米訪」を祈りながら、重い杵もなんのそのと振りあげ搗きおろすさまは、まさに厄払い

の餅搗きにふさわしい勇壮な姿であった。

餅搗きが一段落し一息入れてから日本間で肥育の話聞く。牛の血統に詳しく何事にも実践的な順一氏の話は誰にも分かり納得した。講習が終わると勉強の場が直ちに交身して懇親会場になった。

床の間の「牛頭観音」の掛図に御神酒と餅を供え、二十人ほどの男女が礼拝した。膝を崩し御神酒を頂いていると各家から持ち寄った料理と共に厄払いの餅がお母さん方の手によって小豆餅、すまし餅等になつて出てきた。

料理や餅はおいしい。酒で口の滑りはよくなり賑やかになつてゆく。「俺は餅は駄目だが厄払いダバカネバネバ」といよいよやをするふりをして餅を噛み、そばの人に笑われる酒豪がいたりして、和気あいあいのうちに座は盛り上がりその様子をミヨおばあさんはうれしそうに見ていた。

厄払い餅の効き目かどうか知らないが、餅搗き話が出た頃より子牛価格は上がりはじめ餅を食べた翌月の平成八年三月市場の東由利子牛の平均は四十一万で、その後ますますの価格が続きみんなに笑顔が見られるようになった。

後日、隆一会長は昔、馬時代の「馬つくり」（馬の集団検診のようなもの）や牛時代になつてからもしばらくは集団で削蹄をやった時などは餅搗きをして神に供え人と家畜の無事と農業の繁栄を祈る風習があったと話をしてくれた。

林業だより

森林への期待

総理府の森林と生活に関する世論調査によると、森林に対して「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」「水資源を蓄える働き」「地球温暖化に貢献する働き」に期待する回答が多く、森林所有者にとつて関心のあつた「木材を生産する働き」に期待すると回答した者は一三パーセントにとどまっています。

また、森林で開催される自然体験の行事に子どもたちを参加させたいとする者が三四パーセントと高い割合を示しています。

合を示しています。

さらに、多くの者が一定期間農山村に滞在して休暇を過ごしてみたいとするなど、山村を余暇を楽しむ場として期待しており、その傾向は、小都市、中都市、大都市となるにつれ高くなつて、大都市では七一パーセントの者が山村で余暇を楽しみたいとしています。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	38	297kg	422,984	1,352
雌	18	286kg	343,292	1,141
合計	56	294kg	397,369	1,250

●最高金額 去勢 619,500 北国7の8 紋次郎 藤桜

●最高金額 雌 453,600 広順 安美金 益美

二月家畜市場

木材共販市況

径級	単価（石）	備考
直材30cm以上	—	
24～28cm	4,600円	
14～22cm	4,400円	
13cm下	—	
曲り材	—	

（平成十二年三月・平均価格）
四五年生から五五年生
出品材の多くをガニ腐れ材、若齢材が敬遠されたため、約30%の売れ行き。
価格は横バイから弱含み横バイ。

卒業式から

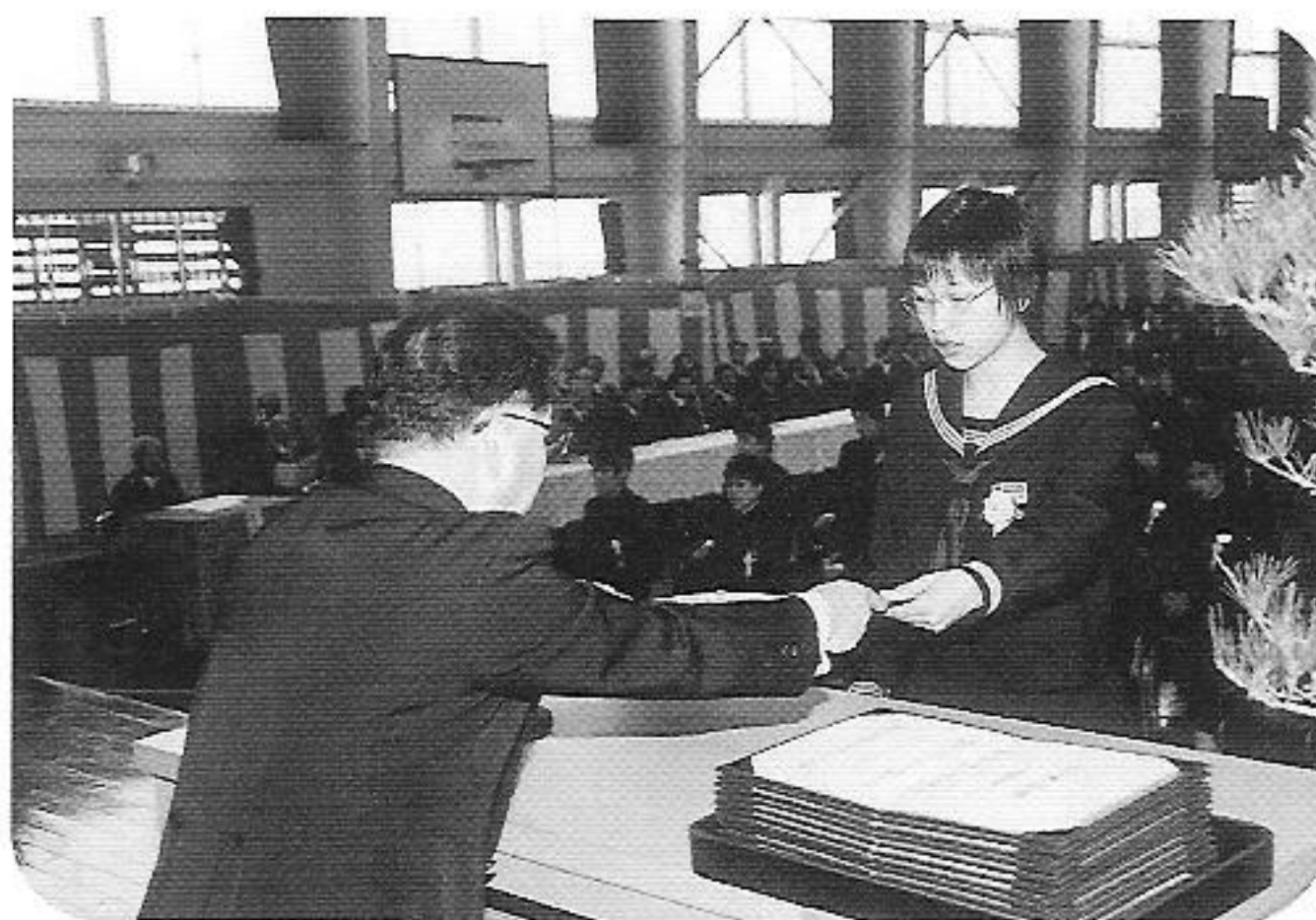
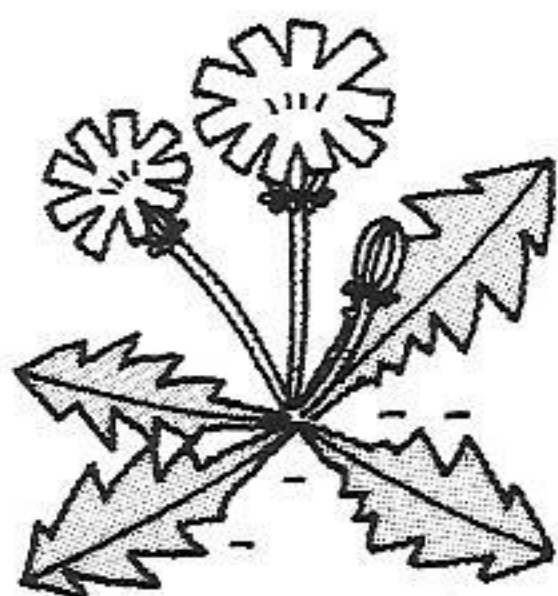
桜の季節まであとわずか、今年も町内各学校で卒業式が行われました。(東由利中学校三月十三日、高瀬小学校十七日、大琴小学校十七日、八塩小学校十八日)

様々な思いを秘めつつ、卒業を迎えた卒業生たち。在校生に学校の伝統を引継ぎ、長い時間を過ごした学校に別れを告げ、それぞれの新しい出会いが待つ場所に旅立っていました。

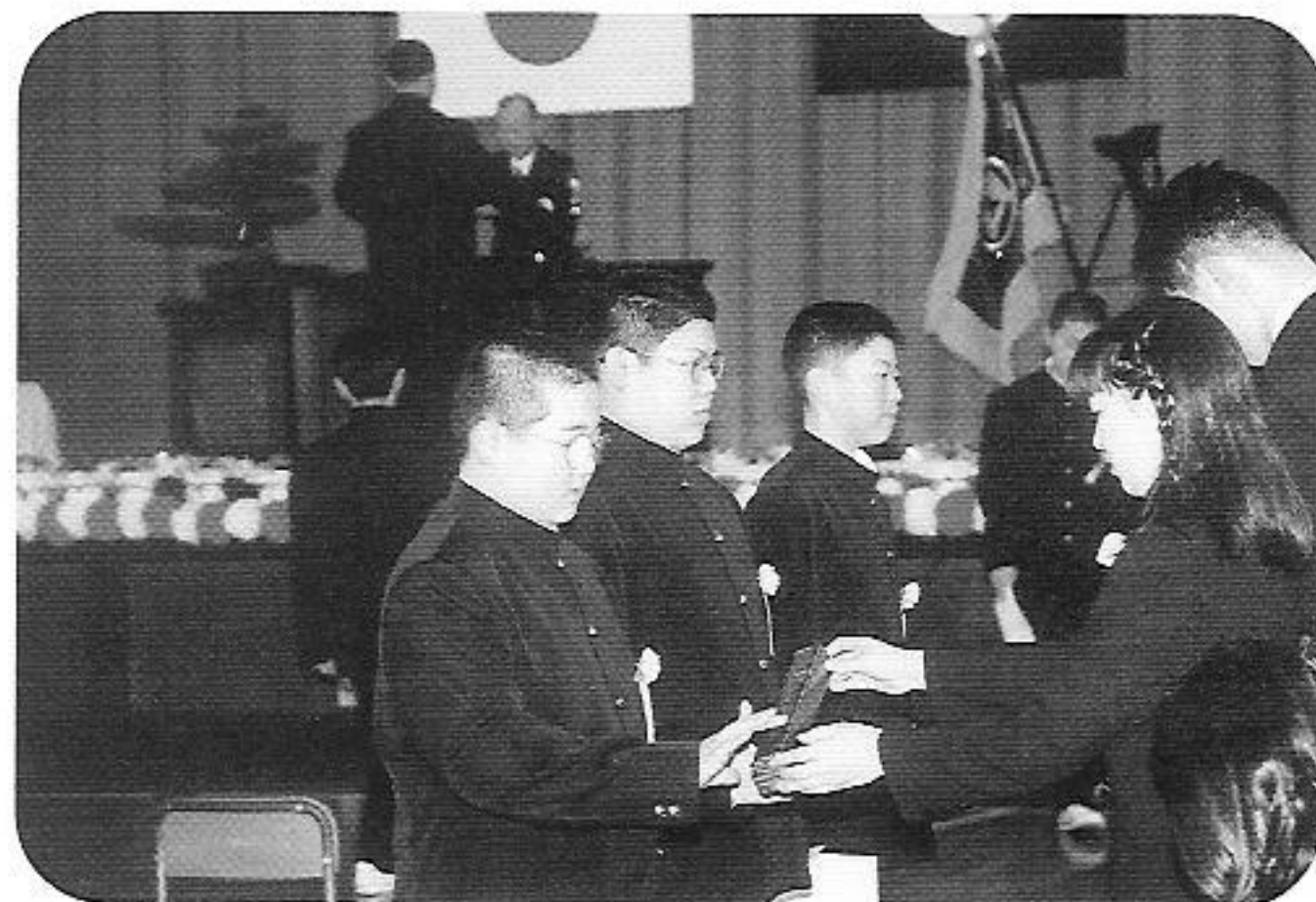
各学校の卒業式から写真で紹介します。



▲声高らかに最後の唄 (高瀬小/3月17日)



▲卒業証書を受け取る卒業生 (東中/3月13日)



▲卒業生に対し最後の仕事 (八塩小/3月18日)



▲卒業生から在校生に校旗 (大琴小/3月17日)

小学校入学児童

(敬称略)

▼八塩小学校 (十二人)
佐藤裕太 (黒淵) 佐藤美香 (津沢) 横山孝明 (泡ノ淵) 渡辺陽絵 (田代) 根田和真 (田代) 長谷山永実 (八日町) 遠藤朱莉 (五海保) 高橋葵 (五海保) 小松伶央 (山崎) 高橋翼 (山崎) 高橋真那 (久保) 渡辺知恵里 (館合新田) 小野涼太 (須郷田)

▼高瀬小学校 (二十二人)
阿部裕貴 (新町) 小野咲奈 (新町) 小松遥 (新町) 小松奈央 (新町) 小松正也 (新町) 高橋聖紀 (新町) 赤川雄馬 (横小路) 森川貴代美 (横小路) 畠山由妃 (上通) 小松佳広 (湯出野) 長谷山瑛子 (湯出野) 畠山拓 (寺田) 畠山勇人 (茂沢) 伊東友樹 (横渡) 佐藤淳也 (蔵) 畠山奨 (蔵) 伊東翼 (蔵新田) 小笠原朋幸 (蔵新田) 畑山景子 (島) 大日向優 (宮ノ前) 大日向梓 (宮ノ前) 遠藤智美 (小倉) 伊東昇真 (高村)

▼大琴小学校 (五人)
鈴木美徳 (袖山) 阿部ひかる (大琴) 大日向幸樹 (大琴) 畑山淳奈 (大琴) 小松健太 (船木)



▲表彰をうけた長谷山さん

長年の功績を表彰

建設技能組合40周年

三月十九日、大蔵館で町建設技能組合の第四十回定期総会と創立四十年記念表彰が行われ、関係者四十余名が出席しました。

この日表彰されたのは長年役員を務められた皆さん八名です。(長谷山雄悦さん、佐々木日出夫さん、工藤秀悦さん、小松清一郎さん、遠藤憲一さん、鈴木昇さん、嶺石八郎さん、藤丸和幸さん以上が表彰) 組合では多年に渡る功績を称えました。また、総会では平成十二年度標準賃金について一万九千円の据え置きで報告しました。



▲畜産農家の皆さんによる発表

畜産農家の生の声聞く

畜産講演会

二月二十九日、有鄰館で畜産講演会が行われ、町畜産関係者など八十余名が出席しました。

主催者、来賓あいさつ後、中央家畜保健衛生所衛生指導課の木村衆主査が牛の遺伝病を題材にした講演を行いました。

その後、高橋重四郎さん、小野源一さん、遠藤喜恵子さん、大庭朋和さんが畜産農家として意見発表を行いました。日頃感じること、畜産の今後など生の声に、出席者は町畜産について改めて考えていました。



▲小笠原学長から精勤賞を受け取る遠藤ヤエさん

生きがい探しのために

ことぶき大学閉講式

三月九日、朋楽荘において平成十一年度ことぶき大学閉校式が行われ、ことぶき大学生ら約百余名が出席し、佐藤文一郎さん(田代福寿会)はじめ二十六名に皆勤賞、また遠藤ヤエさん(宿紅葉会)はじめ四十七名に精勤賞が授与されました。

小笠原学長の式辞、町長あいさつでは、皆さんの生きがいの手助けにことぶき大学が役立てれば、などと話しました。

参加者のみなさんは十二年度も元気に参加することを誓いました。



▲大いに町を宣伝した皆さん

町の魅力をアピール

NHK「まちむら大宣伝隊」

三月十六日、NHKまちむら大宣伝隊の放送のため、町関係者十余名が収録作業を行いました。

この日収録に参加したのは、町民謡同好会、町特産物関係者などの皆さん。生放送ではなく事前収録だったものの、テレビカメラの前で話す機会がないため、リハーサルでは緊張していましたが、本番収録ではしっかりと受け答えしていました。約十分弱という限られた放送時間ではありましたが、町の魅力について充分アピールできたようでした。

東由利文化クラブ



広報へのお手紙

遠藤記さん（郡山市在住）

暖かい日があるかと思えば、雪の積もる日もある寒暖の変化の激しい時候不順の折から、皆様ご健勝にて業務にお励みのこととおよろこび申し上げます。

いつも広報「ひがしゆり」ご送付いただき有難うございます。懐かしく拝読させていただいております。

過日二月には、ご案内をいただいたて、NHKひるどき日本列島（東由利町）にて雪上野球など楽しく見せてもらいました。ただ私も子供の頃（五十年以上も前のこと）に比べるとあまりにも雪の少なさに時代の違いを感じました。

いずれにしろ、東由利町の特性を生かした町づくりで、ますます発展されることを願っています。

畠山茂さん（石狩市）

二月中旬から三月にかけて大変な雪が降り続き私の住む石狩市（市政施行により）も近年にない積雪量となつていますが、ようやく春の息吹を感じています。間もなく急速に雪解けを迎えることでしょう。東由利町もかなりの降雪を見たようです

ね。先日はNHKひるどき日本列島でテレビ放送があり拝見しました。

さて私こと玉米村大吹川に育ち、昭和二十三年の春先まで電気のなかったランプの生活でした。雪も多く

生活も豊かでありませんでした。大吹川を離れて約半世紀が経ちました。何回か故郷には帰りましたが、山や川等昔の唱歌にある「ふるさと」さながらに感じ、とても心が休まり活力が湧いてくるのでした。

その後、広報ひがしゆりのご送付を受け、町の様子を知らぬようになり、黄桜の咲く観光名所等にも一度足を運んだこともありまます。広報の到着がとても楽しみです。

坪井フミ子さん（浜松市）
春らしいこの頃です。毎月たのしみにしております。なつかしく拝見しております。

先月の二月のひるどき日本列島では雪上野球、雪の上では大変でしょうね。フランス料理と冬景色となつかしいひとときでした。

こちらは、年に一度か二度、雪がチラホラ降るぐらいです。たまに一センチほど積もる時もあります。さすがとけてしまします。浜松は遠州のから風といって、風が強く、寒い日が多いです。これからは少しずつ暖かくなる頃と思います。

◆東由利の文芸◆

（せせらぎ句会）

やや遅れ忘れずに来たよ路のとう
道しるべ倒れて村の牙返る
金縷梅や前もうしろも禁獵区
遠く住む娘より早くも梅便り
雲ぬぎし遠峰ひかりて春立ちぬ
やはらかに人參煮える春立つ日
針穴の見えて通らぬ余寒かな
のぼしては折り直す膝まだ二月
妻の忌やひくべからざる風邪の床

湯出野 佐藤 正義
小 倉 遠藤トミ子
横 渡 高橋ヒデ子
蔵新田 小笠原トミ
上 里 小野石藤子
家ノ下 小松 正昭
高戸屋 小松 敏雄
下小路 小松 メサ
久 保 高橋 典三

成分献血に協力ありがとう

（三月二十一日実施 敬称略）

小松長敬 高橋和幸 高橋重保
平良木仁士 嶽石文弥 高橋孝紀
小松聖明 小松喜恒 小松達也
工藤恵 佐々木信幸 阿曾文彦
高橋一心 小松和子 小松正二
今野幸朗

※成分献血とは

血液中の血漿や血小板をいただき、赤血球を体内に返してやる身体への負担が軽い献血です。

アイドルをさがせ!



畠山誠文さん（大吹川）
（1歳）

お父さん:誠さん
お母さん:文子さん

お話し:チヨさん

名前の由来は

「詳しく聞いたことはないのですが、父親と母親の名前から一文字ずつつけたのだと思います」

好きなものは

「テレビ番組おかあさんといっしょを一生懸命見ています。食べものの好き嫌いはないようです。動物だと猫が好きだそうです」

最近のエピソードは

「歩けるようになったこと」

家族では誰になつていますか

「家族みんなですが、私に特になつていてと思います」

お姉ちゃん（千尋さん）は面倒をみますか

「仲良く遊んでくれるようです。にこっと笑った顔が気に入っているようです」

将来はどんな人になるか

柴山修子さん（青梅市）

「広報ひがしゆり」の表紙を見ると、東京と変わらない服装だとか、「郷土の野草」を見ると、なつかしくなり帰りたいくなります。「東田利の文芸」を見るのも楽しみです。

岡本侑子さん（秋田市）

秋田に住み古里の内容が知れて毎月楽しみにしています。特に「ふるさとむかしむかし」は文と絵が同級生なので嬉しい。

秋田にきて四十数年。今いられるのも古里あつてのことと童心に思っています。

これまで、そしてこれから

本庄高校下郷分校二年

畠山 梢さん



昨年度一年間を振り返ってみるといろいろなことがありました。高校は義務教育ではないので、強い意志を継続していかなければなりません。その分毎日が充実しており、学校へ行くのが楽しみでした。

しかし、教科によって違いはあ

ふけることもあります。何か恩返しと日常考えています。

小園雪子さん（千葉市）

遠くにいても広報のおかげで田舎に住んでいるような感じがします。

無理とは思いますが、各自自治会の楽しい出来事や楽しい人などを紹介してもらえたらとつい欲張ってしまいました。

※先月号「虫歯なんかないもん」中、慶次さんは次郎さんの誤りでした。訂正してお詫言いたします。

りますが、授業の方はたいへんでした。入学してしばらくしてからそのことに気付きました。進度は早いし、一週間に五時間も勉強しなければならぬ科目もありました。今では授業についていくことに幾分慣れましたが、充分理解できているかと言われると不安なところもあります。

二学期に入ると文化祭がやってきました。女装や男装といった出し物など、これまで実際に目にしたことのないものがたくさんあって、人数の少ない学校ですが盛り上がりはすごかったと思います。

三学期はあつというまででした。そして、私の新しい自分を見つけた一年間もあつて終わってしましました。

長かったようで短かった一年間だったと思います。けれども自分のためになることがたくさんあったので大変よかったと思います。二年生も楽しみです。

ふるさと むかしむかし

三四

雲から落ちた雷の子っこ

むかしむかし、むらはずれに爺さまと婆さま夫婦が住んでおりました。

ある日のこと、二人は裏の畑で仕ごとをしていると、雨雲がたちこめたとしたら、にわか雷がゴロゴロゴロゴと鳴りだし、ザーと雨が降ってきたのでした。

爺さまと婆さまは、畑のそばにある桜の木の下に雨やどりをしました。爺さまは、なかなか止みそうもない雨雲をすかさずに見上げると、どうやら雷の親子がとんだりはねたりして遊んでいるようです。

「ああ、雷の親子でもあんなに楽しそうに遊んでいる。おらどこにも、わらしこがなければなあ」と、爺さまはうらやましそうに眺めているのでした。

そんなときでした。雷の音はだんだんはげしくなり、ゴロゴロゴロ、ピカッと光ったと思ったら、ばりばりーん、どしーんと、畑のまん中あたりに落ちたようです。

なんのことはない、雷の子っこ（子供）があまりはしやぎすぎて、雲の上から下の畑に落ち

てしまったのでした。

爺さまと婆さまは、雨の止んだところを見て雷の落ちたところに行ってみたら、雷の子っこが腰を打って「痛いよー」と泣いていました。

爺さまは、泣き止まぬ雷の子っこをおんぶし、家に連れてきたのでした。

家に入った婆さまは「おお、こんなに腰を打って可愛そうに」と、酢と小麦粉でねった貼り薬をつくり、打った腰に湿布し、介抱してあげました。

二人の手厚いかん病で、すっかり元気になった雷の子っこは、爺さま夫婦になじみ、二人とも孫のように可愛がるのでした。

毎晩、

爺さまに抱かれ、昔を聞きながら眠る雷の子っこです。

ある晩のことでした。寝ている爺さまは、お腹のあたりがモソモソするので、そっと見



（文と絵 石渡力造氏）

たら抱かれています雷の子っこの小さな手が、おへそのちかくをさぐっているのです。

爺さまは「雷の子っこでもやっぱおへそをねらう雷であつたのか。命あつてのものだね、くわばらくわばら」と次の日、可愛そうでしたが、裏の畑に雷の子っこを背負ってきた爺さまは、雨雲を呼びよせ、駄々をこねる雷の子っこをむりに雲の上にのせ、かえしてやりました。雲の上から、ありがとうよゴロゴロと親雷の音がします。二人は、うつすら目をうるませながらいつまでも雨雲を見送っているのです。

4月▶データ東由利

〈2/1～/29〉

住民基本台帳人口 ()は前月比

- 男……………2,508人(－8)
- 女……………2,644人(－9)
- 計……………5,152人(－17)
- 世帯数………1,386戸(－6)

()は平成12年1月からの累計

- ・出生3人(7)・死亡10人(20)
- ・転入5人(14)・転出16人(28)

- 火災出動……………0件(0)
- 救急出動……………12件(25)
- 交通事故……………1件(2)
 - ・死亡……………0人(0)
 - ・傷者……………1人(2)
- 飲酒運転…(町内)0人(0)
 - (町外)0人(0)

4月の行事予定

- 2 消防かけつけ訓練
- 3 永慶保育園おむかえの会
- 4 八塩小学校入学式
- 4 高瀬小学校入学式
- 4 大琴小学校入学式
- 5 東由利中学校入学式
- 2～4 春の火災予防運動
- 6～15 春の交通安全運転



ほっとひといき

広報を担当して丸4年。48号を発行してきたわけで、振り返ると色々思い出があります。試行錯誤して編集した第1回広報。締切前のあわただしさ。大変だった正月号表紙製作など。もちろん楽しい事、意外な事もたくさんありました。広報担当でないといわれない貴重な経験ができたな、と思います。ということで4月異動に伴い、広報を卒業します。取材協力ありがとうございます。なお後任者をよろしくお願いします。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.182

ウマノミツバ
(セリ科)

文・写真 小松忠正氏

日本全土、中国、朝鮮半島などの山地の下草として生える多年草で、本町の杉林などに多く見られます。

高さは三十センチから八十センチくらいで上部で分枝します。根生葉には長柄があつて大きく、深く三裂し、側方の葉も二深裂するため葉数が五枚のように見えます。葉縁は鋸歯がありますが無毛で、上部の葉には葉柄が殆どなく、裂けないため三つ葉になります。



七月から九月小形の散形花序に、小さい白色の花を多数つけます。花弁五枚、雄しべ五個で、利尿、去痰の薬草です。

戸籍の窓口

(2月21日～3月20日届出)

●お誕生おめでとう

2/18 島山 未咲子さん(知也) 中通

3/1 高橋 海仁くん(良浩) 山崎

3/6 佐々木 ひなのさん(直) 大琴

●ごめい福をお祈りいたします

2/21 佐藤 与吉さん(93) マサヨ・夫・津沢

2/22 東海林ハツノさん(95) スツエ・母・大内町

2/23 阿部フチヨさん(85) ハル子・養母・蔵

2/24 小野久一郎さん(79) 久治・父・上里

まごころ

社会福祉協議会に佐藤幸一さん(津沢)、東由利町職員組合(役場)、小松了さん(蔵)、阿部寿之さん(蔵)から芳志が届けられました。

また、広報送付謝礼として畑山茂さん(八王子市在住)、畑山齊さん(札幌市在住)、遠藤記さん(郡山市在住)、坪井フミ子さん(浜松市在住)、金釜アイ子さん(秋田市在住)、照井悌三さん(文京区在住)、渡部亮子さん(江戸川区在住)、小松一雄さん(足立区在住)、島山竹志さん(本荘市在住)、佐々木美和子さん(千代田市在住)、柴田一郎さん(秋田市在住)、今井末造さん(伊勢原市在住)、伊東利雄さん(秋田市在住)、加藤あき子さん(清瀬市在住)、島山茂さん(石狩市在住)、阿部敏さん(平塚市在住)、佐藤和子さん(千葉市在住)、高橋哲夫さん(田沢湖町在住)、莊野富男さん(横浜市在住)、遠藤民雄さん(川口市在住)、小松幹男さん(新宿区在住)、匿名希望さん(横浜市在住)、鈴木チズさん(本荘市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

テレビ電話で情報交換 下郷分校にテレビ電話



▲画面を見ながらの会話

三月二十二日、本荘高校下郷分校にNTT秋田支店からテレビ電話が寄贈されました。これは県内のISDN(総合デジタル通信サービス)契約が五万件を突破したことを記念したものです。

当日は学校関係者が見守る中、本荘高校関係者とテレビ電話を使用し、画面を見ながらの会話をしました。NTTでは「本校と分校との交流や情報交換などに役立ててもらえたら」と話していました。

なお、この電話は県内の小学、高校四校にも寄贈されました。